

主要事業 4 取水・導水・浄水施設の改修

次世代

つながる

環境

白川浄水場は、第1・第2・第3の3つの浄水場からなる札幌市最大の浄水場です。場内の多くの施設で耐震性能が不足しているとともに経年劣化が進んでいることから、段階的に改修を行います。改修は、浄水場を停止して行う必要があり、その際に低下する供給能力を補うため、第1期改修事業として、新たな浄水場を整備するとともに、エネルギー使用量の削減を目指し、原水を豊平川から取り入れる地点を見直して、自然流下を有効に活用できる新たな取水導水施設を整備します。

その後、第2期改修事業では、浄水場の一部廃止を含め、供給能力の縮小を図りながら、既存の浄水場の改修を行います。

【第1期改修事業概算事業費 約400億円（事業期間：平成26(2014)～令和9(2027)年度）】

効果

・将来にわたって安全で良質な水道水を安定的にお届けできます

取組	白川浄水場の改修									
	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな浄水場と取水導水施設の建設を進めます。 (第1期改修事業：令和9(2027)年度完了予定) 									
年次計画	実績					計画				
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	新浄水場の設計・工事					新取水導水施設の設計・工事				
ビジョン後半5年間の予定事業費(2020～2024年度)						155億円				

【図表28】白川浄水場の全景

